

## 音量レベルを調整する

### DDBC 音量レベル

[ 初期設定 : 0 dB , 調整範囲 : - dB , - 10 dB ~ + 10 dB ( 2 dBごと ) ]

“ DDBC SUB・W ” の 「 DDBC LEVEL 」 を選ぶ。

- ← : レベルが下がる。      - dB ,    - 10dB      0 dB      + 10dB  
 → : レベルが上がる。      - dB : PRE-OUTに接続したアンプから音が出なくなる。

## 音の出るタイミングを調整する

### DDBC ディレイ時間

サブウーファーの出カタイミングを調整して、音が耳に届く時間差 ( ディレイ時間 ) をなくし、量感のある重低音を再生します。 [ 初期設定 : 0 ms , 調整範囲 : - 10 ms ~ + 10 ms ( 1 msごと )    1 ms = 0.001 秒 ]

“ DDBC SUB・W ” の 「 DDBC DELAY 」 を選ぶ。 ( P.30 参照 )

- ← : ディレイ時間が短くなる。  
 ( スピーカーよりも、サブウーファーの出力の方が早くなる。 )  
 → : ディレイ時間が長くなる。  
 ( スピーカーよりも、サブウーファーの出力の方が遅くなる。 )

- 10 ms      0 ms      + 10 ms

0 ms : スピーカーとサブウーファーの出力タイミングが同じになる。

## 低音の厚みを調整する

### DDBC カットオフ周波数

[ 初期設定 : FLAT ]

出力する低域周波数の上限 ( カットオフ周波数 ) 設定で、高音域をカットします。

“ DDBC SUB・W ” の 「 LPF SELECT 」 を選ぶ。 ( P.30 参照 )

- 右に倒すごとに、次のように切り替わります。 ( 左に倒す : 逆回り )

FLAT      100      150      200 ( Hz )

FLAT : 高音域をカットをしない通常のモノラル出力。

### お知らせ

- 別売の外部アンプに内蔵されたカットオフ周波数や位相差調整機能を使用する場合は、本機のDDBC カットオフ周波数を「FLAT」、DDBC ディレイ時間を「0 ms」にしてください。
- SDBBを設定すると、さらに重低音の効果が得られます。( P.27 参照 )
- サブウーファー出力の調整値 ( 音量レベル、ディレイ時間、カットオフ周波数 ) は、SBC-SWを「OFF」以外に設定した場合 ( P.27 参照 ) のリヤースピーカー出力、およびリヤースピーカウトと連動し、同じ設定値になります。